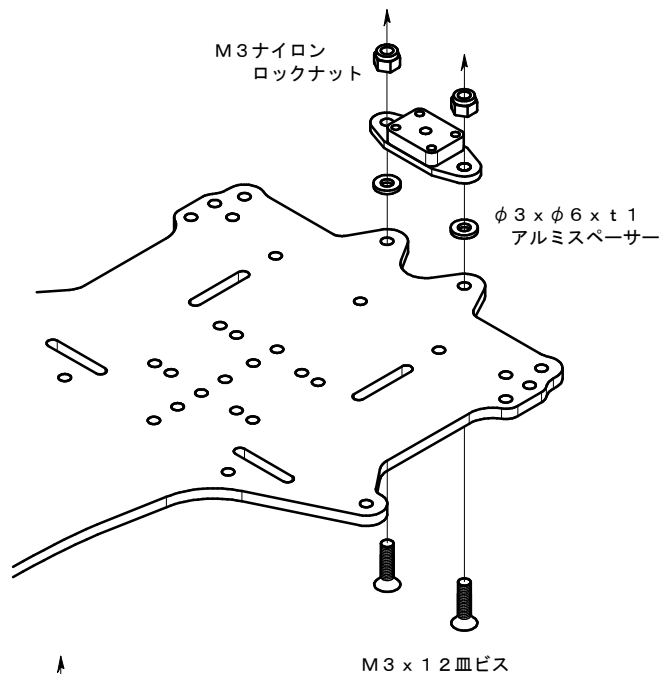
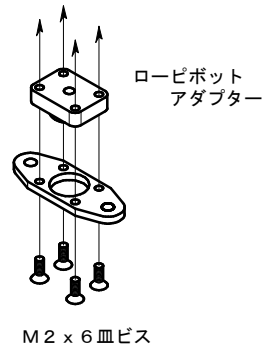
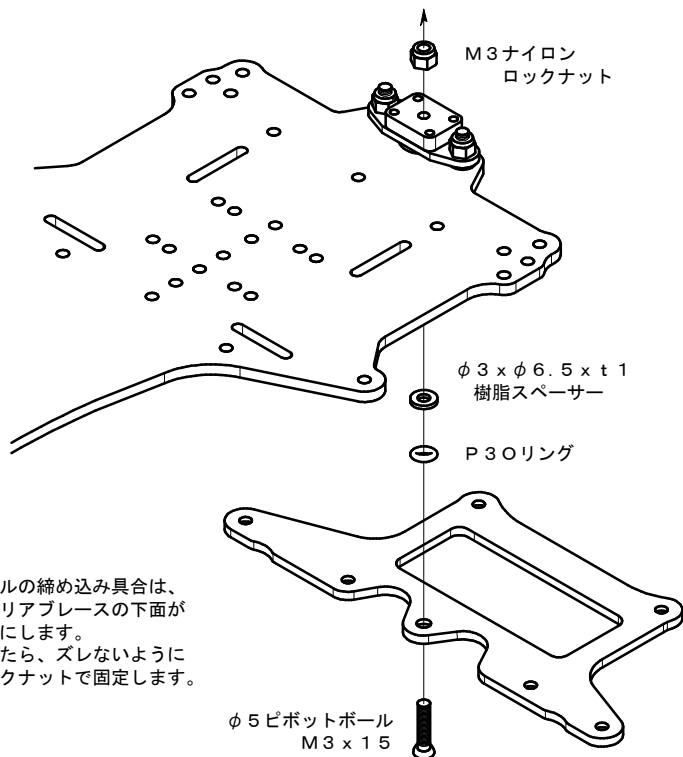
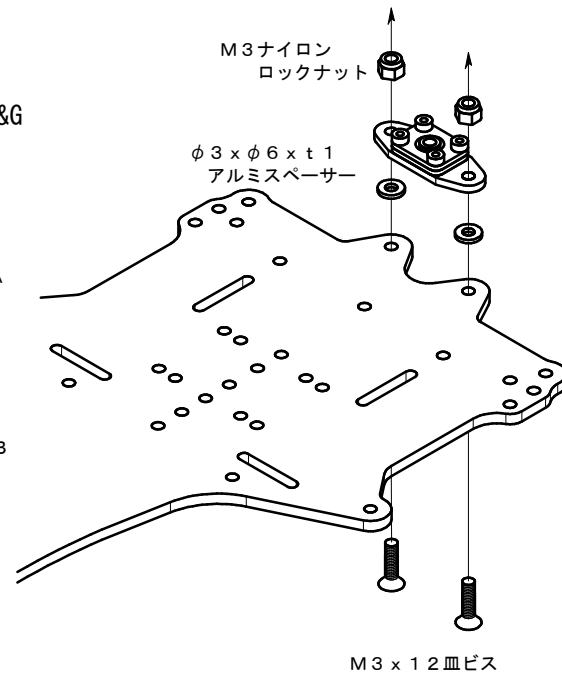
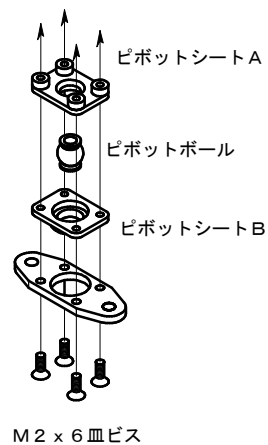


# リアピボットの組み立て

## ローピボットタイプ \* 使用パーツ袋No. F&H



## ハイピボットタイプ \* 使用パーツ袋No. F&G

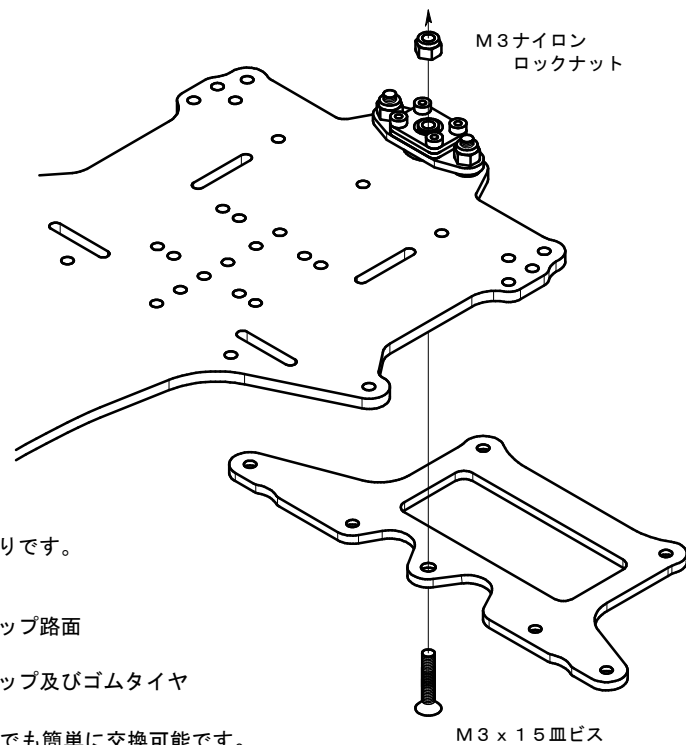


\* φ5ピボットボールの締め込み具合は、メインシャーシとリアブレースの下面が面位置になるようにします。位置が決まりましたら、ズレないようにM3ナイロンロックナットで固定します。

ピボットの基本設定は下記の通りです。

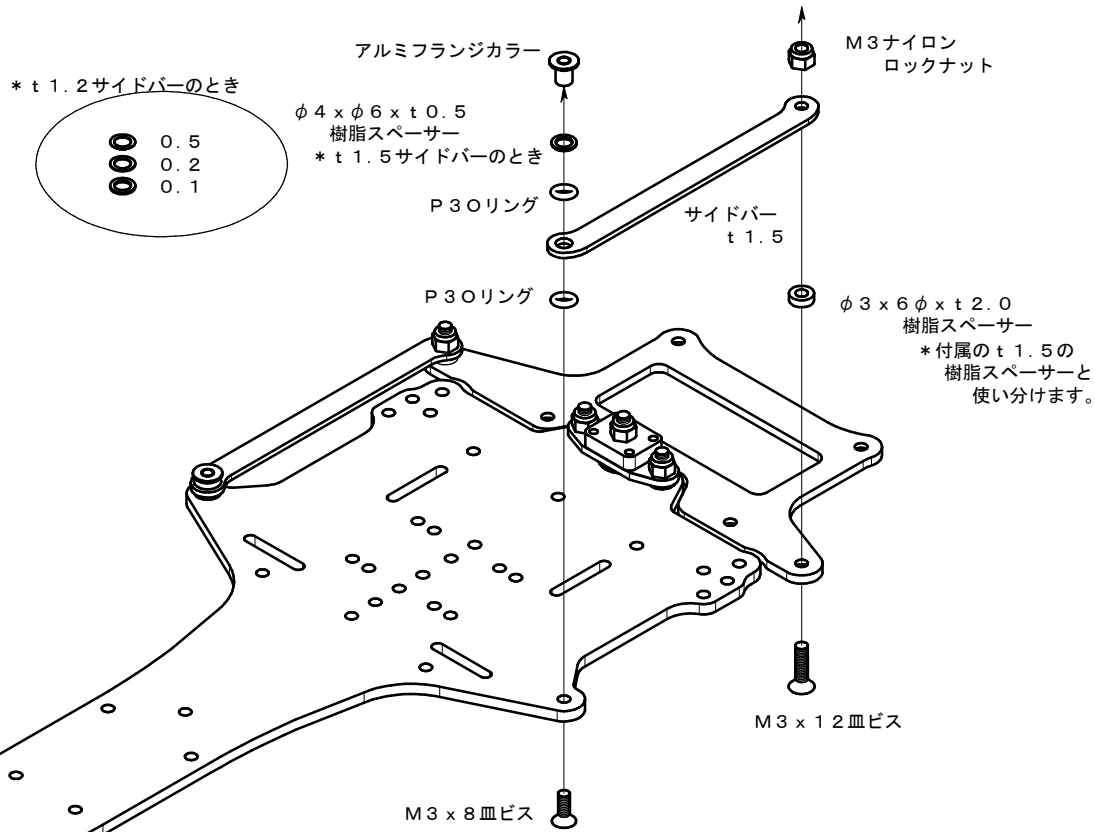
- \* ローピボット  
スポンジタイヤで低グリップ路面
- \* ハイピボット  
スポンジタイヤの高グリップ及びゴムタイヤ

\* ピボットパーツは完成後でも簡単に交換可能です。



## サイドバーの組み立て

\* 使用パーツ袋No. I & J



\* 図は、ローピボット仕様です。

サイドバーの使用例：

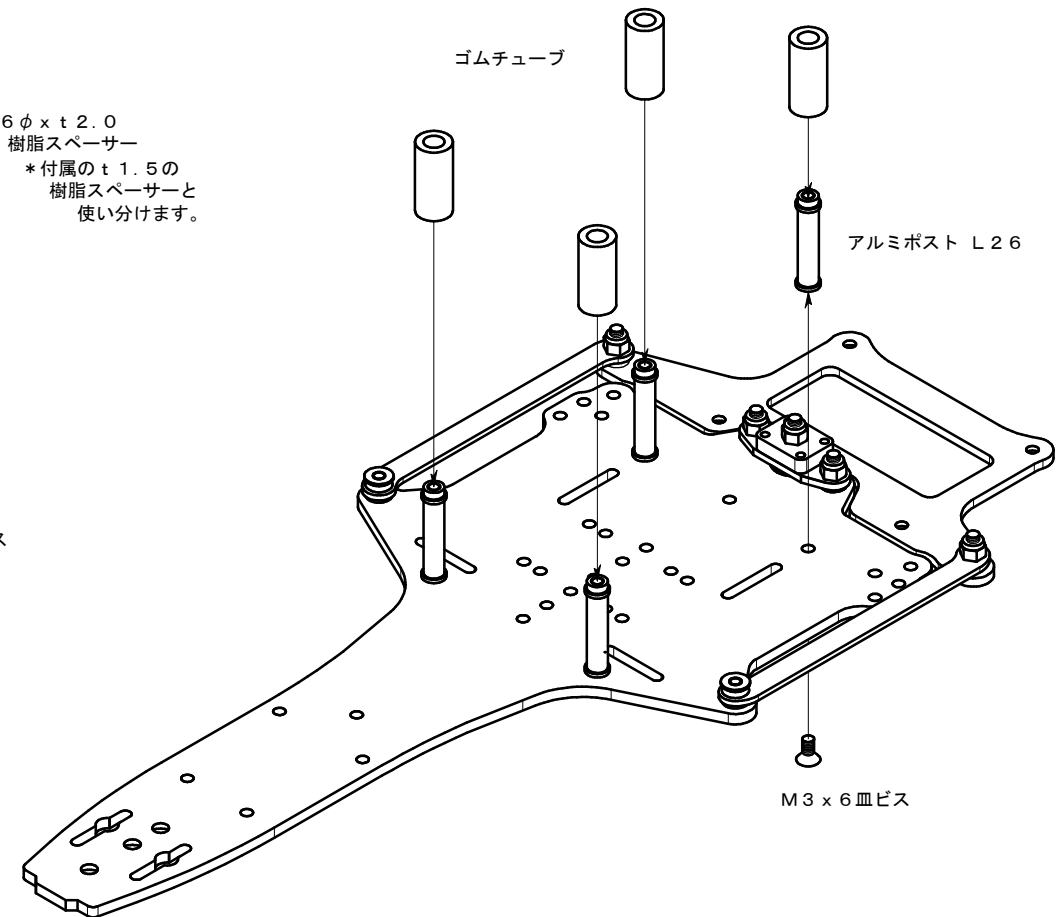
- ・ローピボットの場合、t 1.5サイドバー
- ・ハイピボットの場合、t 1.2サイドバー

## シャーシポストの組み立て

\* 使用パーツ袋No. A & O

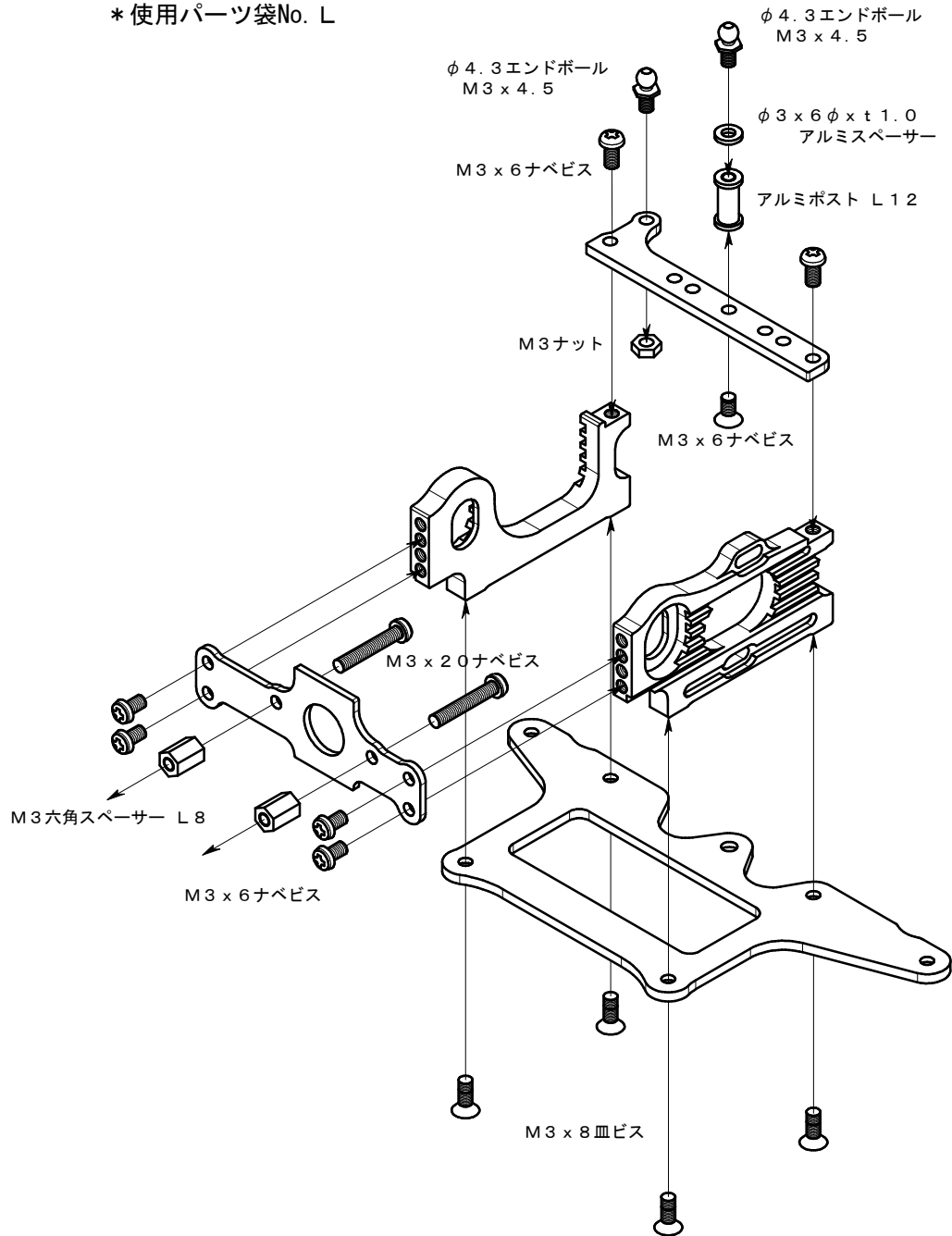
付属のゴムチューブを長さ20mmにカットして使用します。

- \* φ7とφ9は、バッテリーのサイズ(幅)によって使い分けます。
- \* 後ろの2ヶには、ポストとゴムチューブの間にグリス等を塗るとバッテリー取り外しがスムーズ行えます。



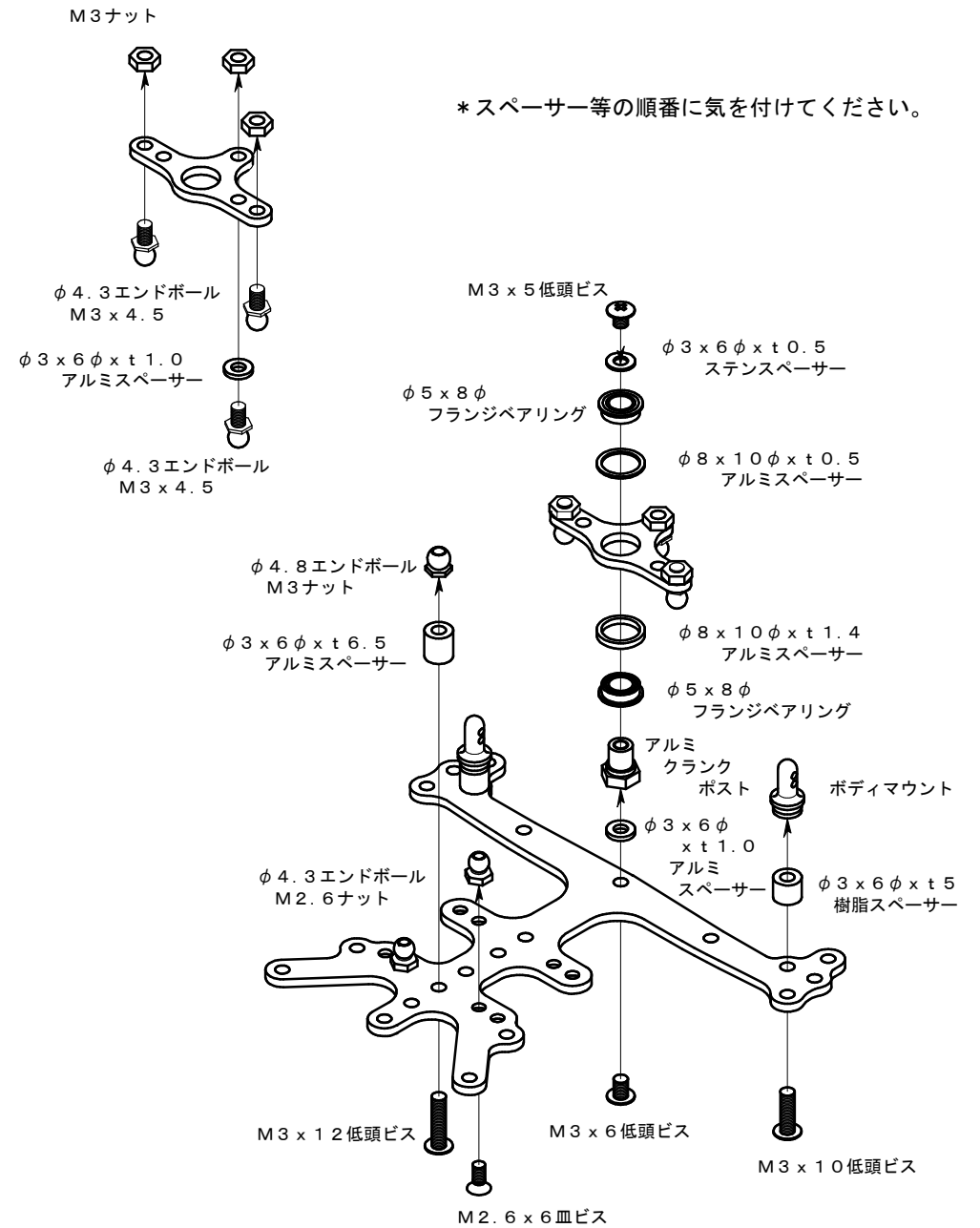
## モーターマウントの組み立て

\* 使用パーツ袋No. L



## リアアッパープレートの組み立て

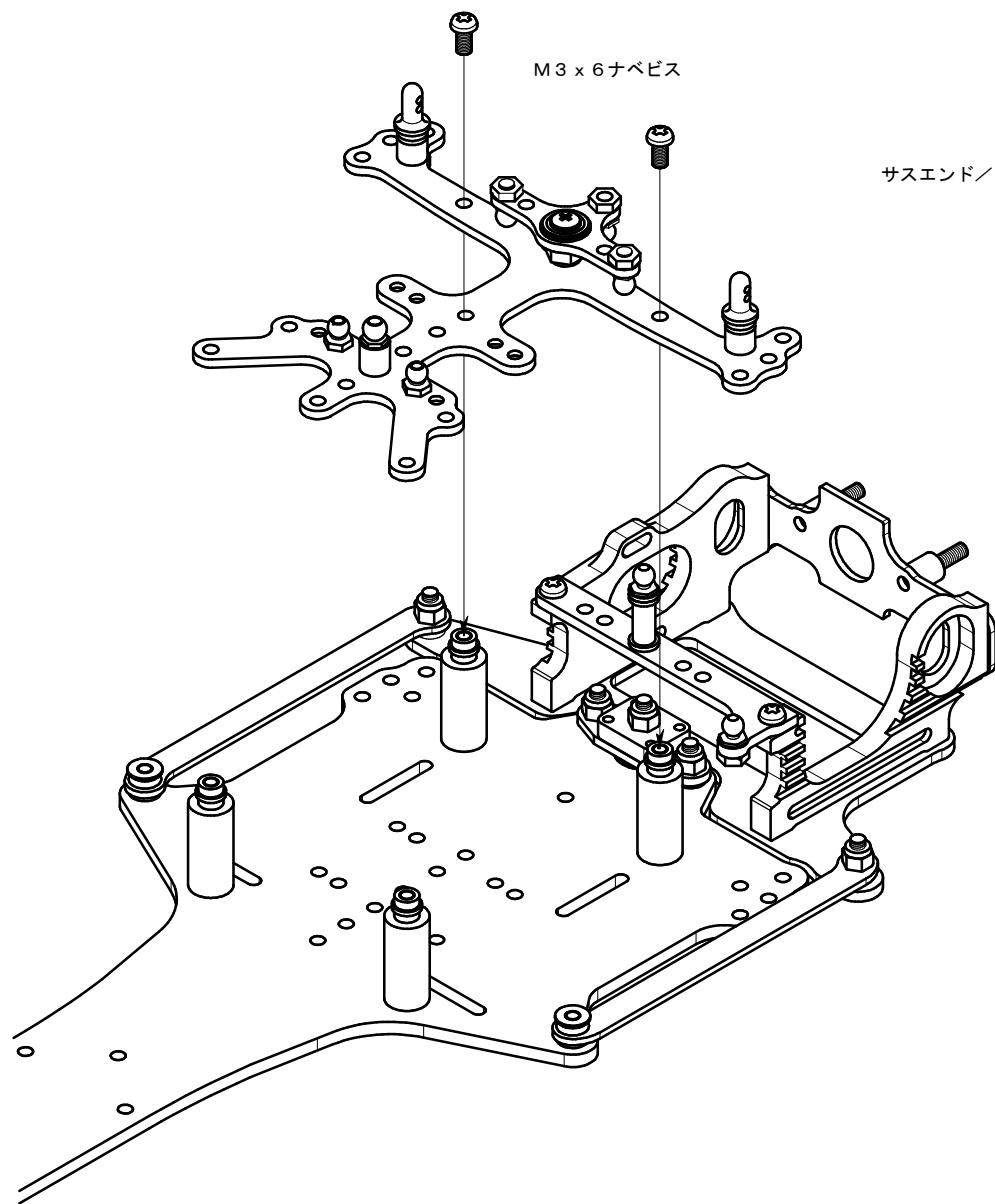
\* 使用パーツ袋No. C, D, E, K



\* スペーサー等の順番に気を付けてください。

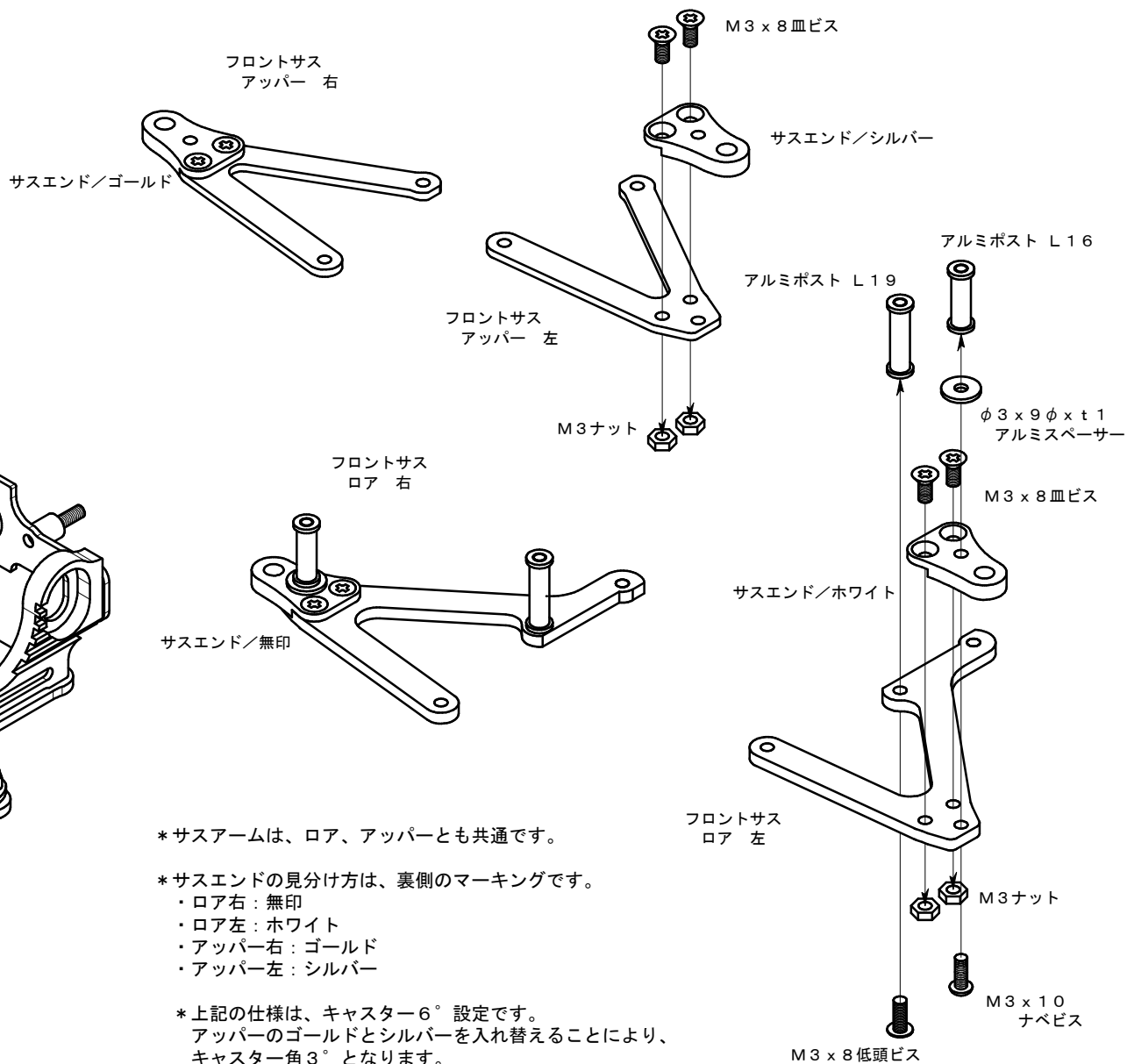
## リアアッパープレートの取り付け

\* 使用パーツ袋No. O



## フロントサスアームの組み立て

\* 使用パーツ袋No. O



\* サスアームは、ロア、アッパーとも共通です。

\* サスエンドの見分け方は、裏側のマーキングです。

- ・ロア右：無印
- ・ロア左：ホワイト
- ・アッパー右：ゴールド
- ・アッパー左：シルバー

\* 上記の仕様は、キャスト角6°設定です。  
アッパーのゴールドとシルバーを入れ替えることにより、  
キャスト角3°となります。

## サーボマウントの組み立て

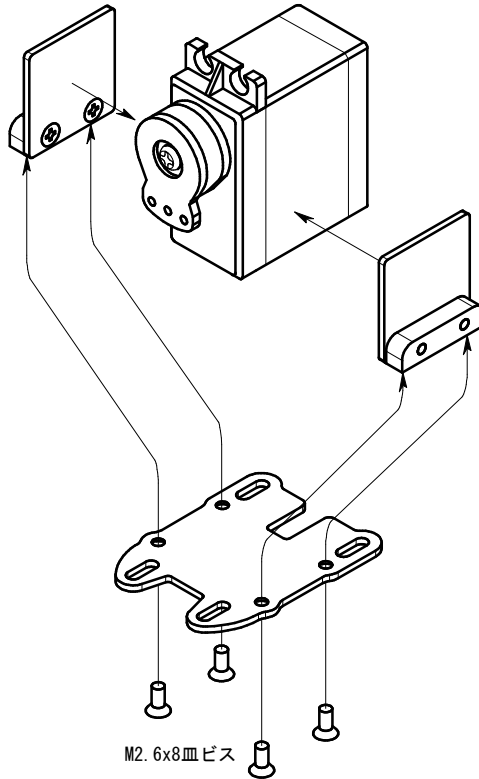
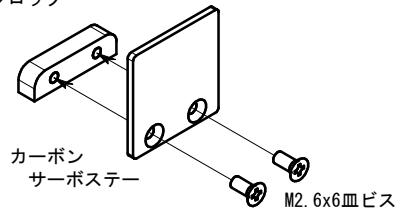
\* 使用パーツ袋No. N

\* F103キット標準と同じようにサーボのメインシャーシ側のミミは、切り取って使用します。

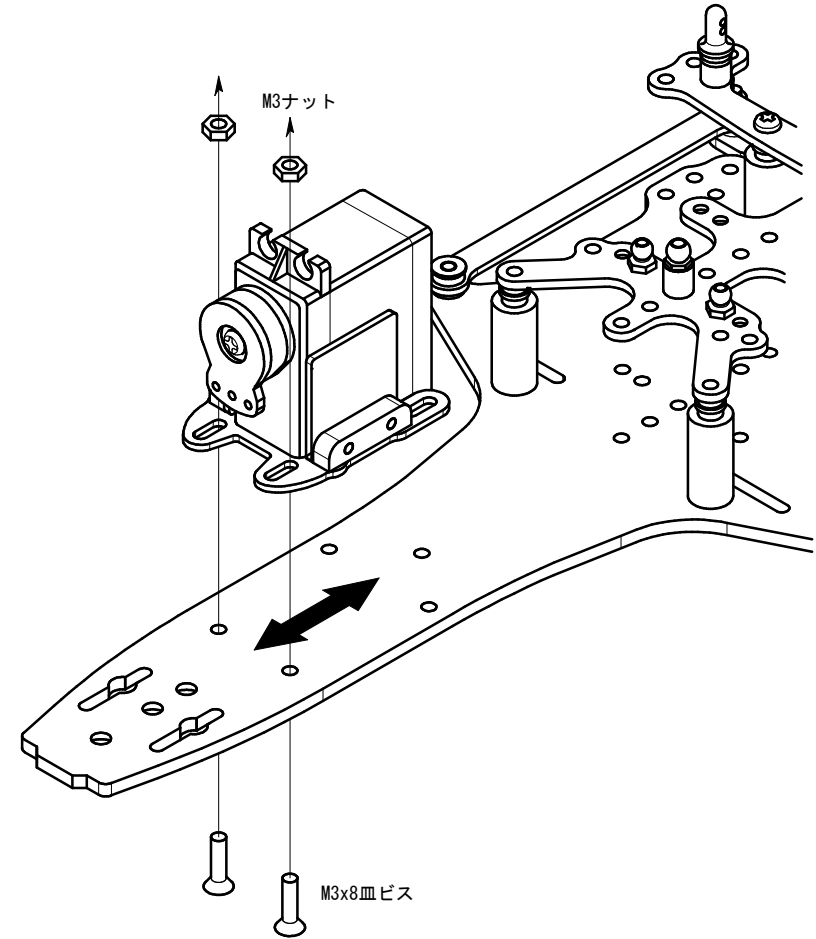
\* カーボンサーボステーを付属の両面テープ等で左右同じ位置になるようにサーボに固定してください。

標準タイプサーボの場合  
厚み：19～21mm

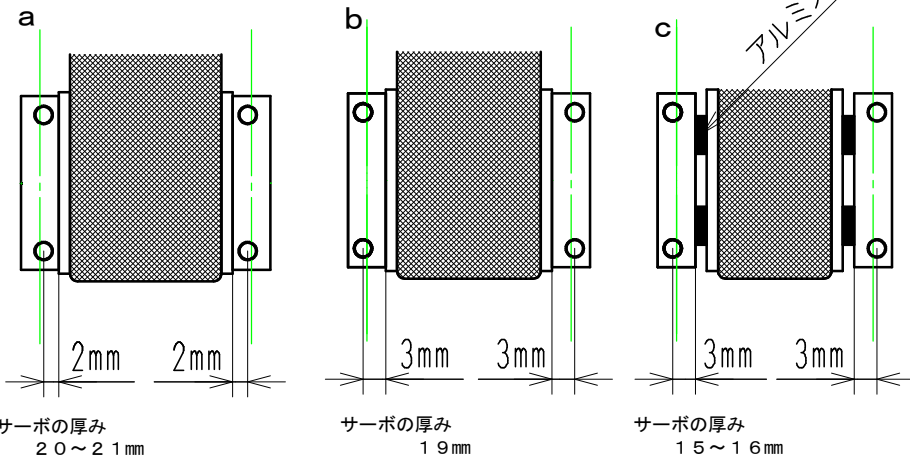
マウントブロック



\* カーボンサーボマウントプレートを止める4点のビスを緩めることにより、サーボを前後に移動することにより、アッカーマン調整が出来ます。位置が決まりましたら、4点のビスを締め固定してください。



\* サーボマウントブロックのカーボンサーボマウントプレートに取り付ける穴はオフセットされています。サーボのサイズに合わせてセットしてください。

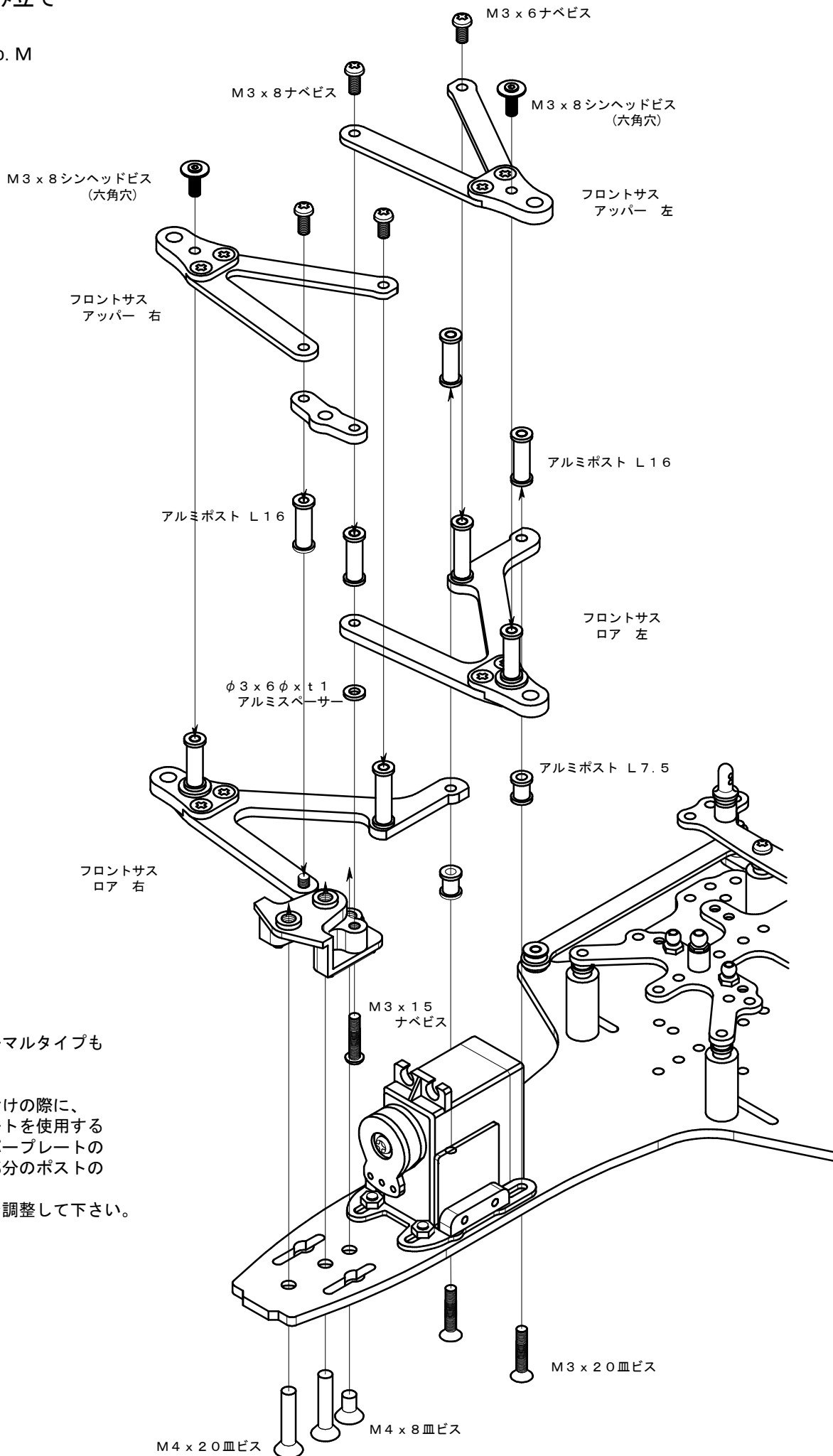


- a. <サーボの厚み：2.0mm場合>  
付属の両面テープかタミヤ等の厚手の両面テープをご使用ください  
<サーボの厚み：2.1mm場合>  
薄手の両面テープをご使用ください
- b. <サーボの厚み：1.9mm場合>  
薄手の両面テープをご使用ください
- c. <サーボの厚み：1.5mm場合>  
付属の両面テープかタミヤ等の厚手の両面テープをご使用ください  
<サーボの厚み：1.6mm場合>  
薄手の両面テープをご使用ください

\* ミニサーボ搭載の場合のスペーサーは、付属していません。お手持ちのスペーサーをご利用してと調整してください

# フロントサスの組み立て

\* 使用パーツ袋No. M



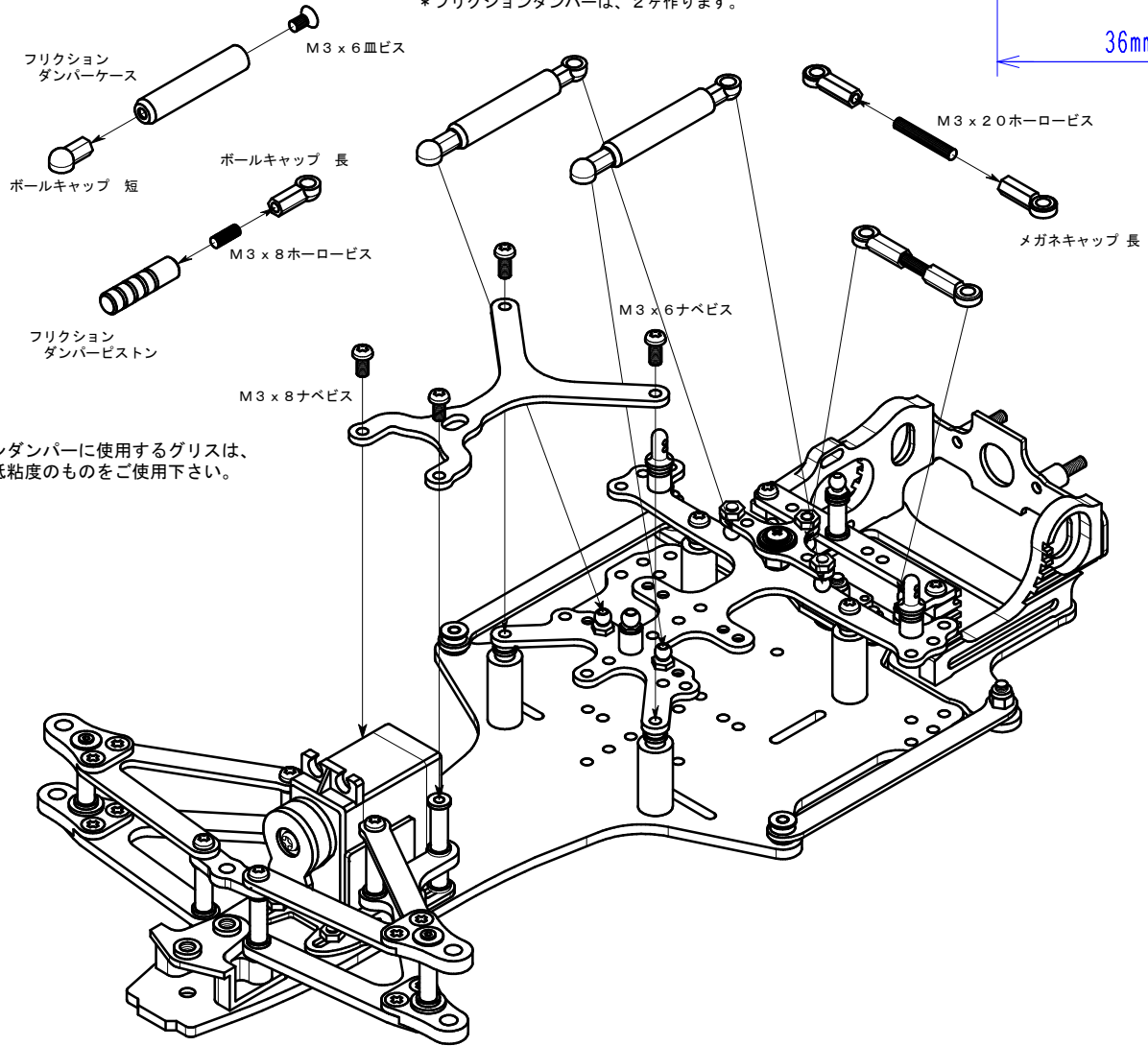
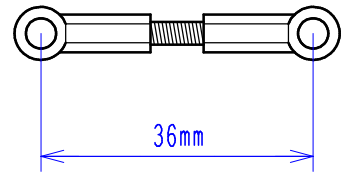
\* フロントサスは、  
タミヤF103用のノーマルタイプも  
取り付け可能です。

ノーマルタイプを取り付けの際に、  
フロントアッパープレートを使用する  
場合は、フロントアッパープレートの  
前側二カ所のコネクタ部分のポストの  
高さ調整が必要です。  
お手持ちのスペーサーで調整して下さい。

## ロールダンパーの取り付け

\* 使用パーツ袋No. B

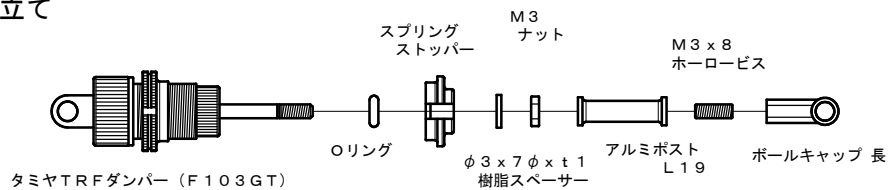
\* フリクションダンパーは、2ヶ作ります。



\* フリクションダンパーに使用するグリスは、出来るだけ低粘度のものをご使用下さい。

## ピッチングダンパーの組み立て

\* 使用パーツ袋No. E

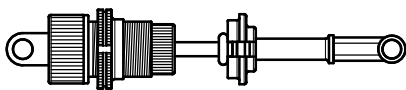


\* M3ナットは、ゆるまないようにしっかり締めて下さい。

\* ピッチングダンパーが、クランク等に干渉する場合は、スペーサー等部分のマウント上げて調整して下さい。

\* ピッチングのボトム時とリバウンド時に各部に干渉ないようにピッチングダンパーを調整して下さい。

\* ピッチングダンパーのスプリングは、出来るだけ柔らかいものをご使用下さい。



アッパープレート側



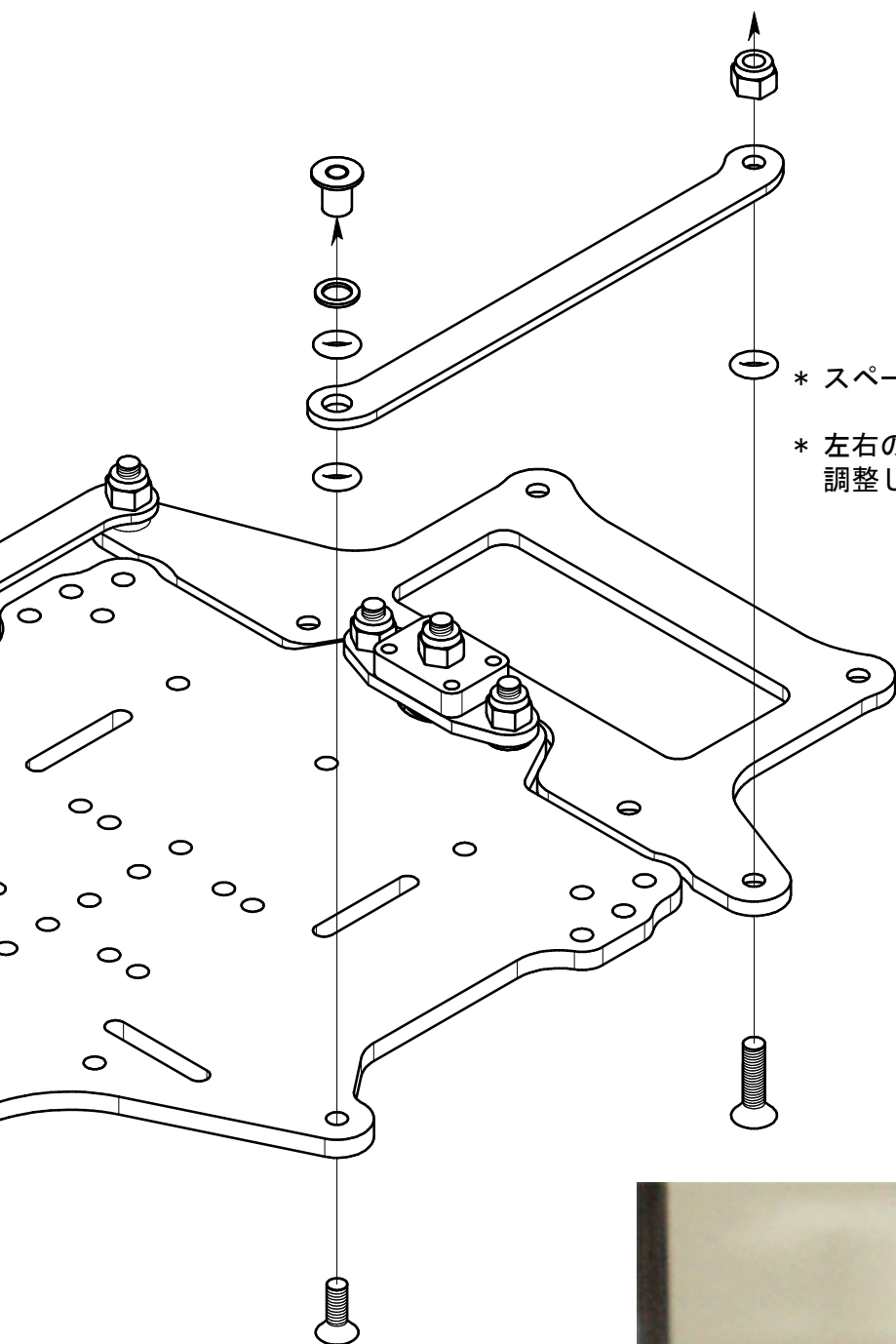
モーターマウント側

## その他

- \* このキットは、ストレートパックタイプバッテリー仕様です。その他のタイプのバッテリーを搭載の場合は、オプションの専用バッテリートレイをご使用下さい。
- \* バッテリーの積み下ろしは、リアアッパープレートの前側の左右どちらか一方のポストをはずして行って下さい。
- \* バッテリーの固定は、シャーシフロント側の細い部分にしっかりとグラステーブで止めて下さい。
- \* 等キットは、カーボン等通電性の高い素材を多用しています。ショート等充分にご注意して下さい。
- \* マシンへのバッテリーの積みっぱなしは、大変危険です。保管時は、マシンから必ずバッテリーを降ろして下さい。

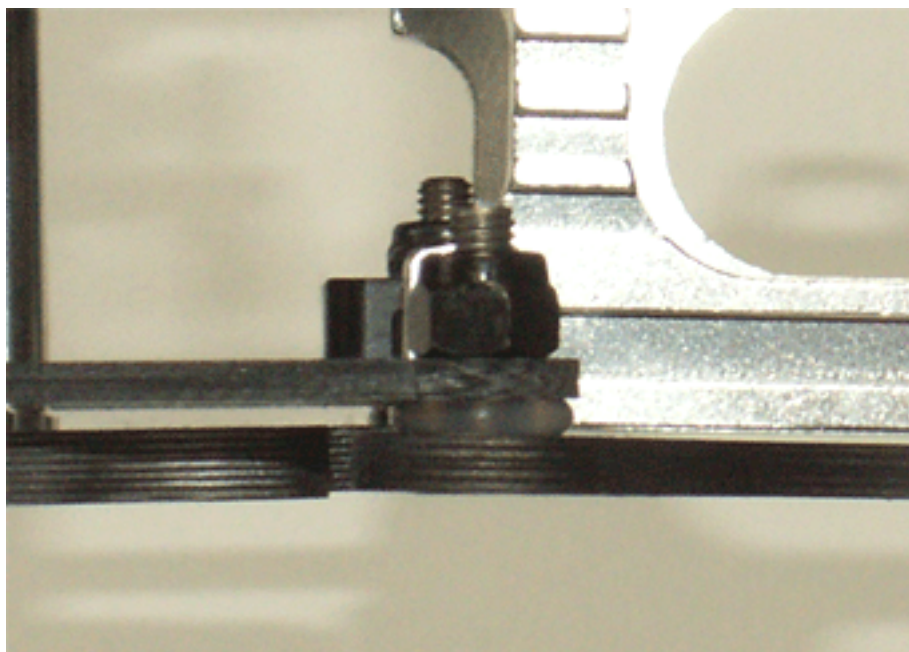
## サイドバー／リアリング仕様

\*図のように、キット標準でスペーサーを入れるところへ替わりにP3リングを入れることにより、よりリアのトラクションを得る事が出来ます。  
是非、お試し下さい。



\* スペーサーの替わりにリング(P3)を入れます。

\* 左右のリングに掛かる圧が、同じようになるよう、調整して下さい。

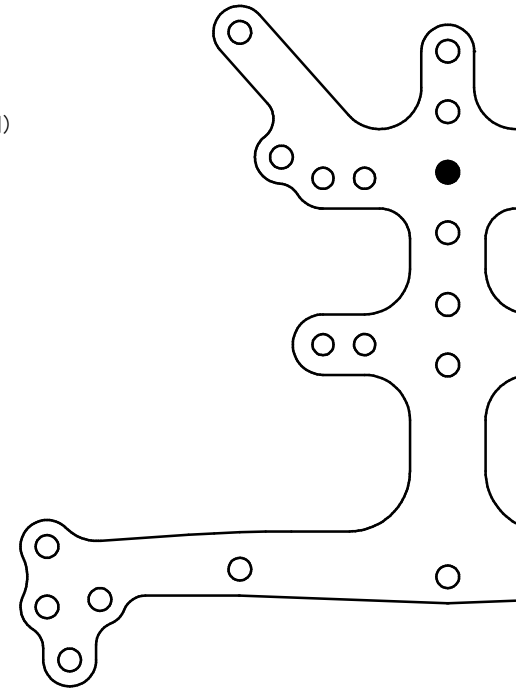
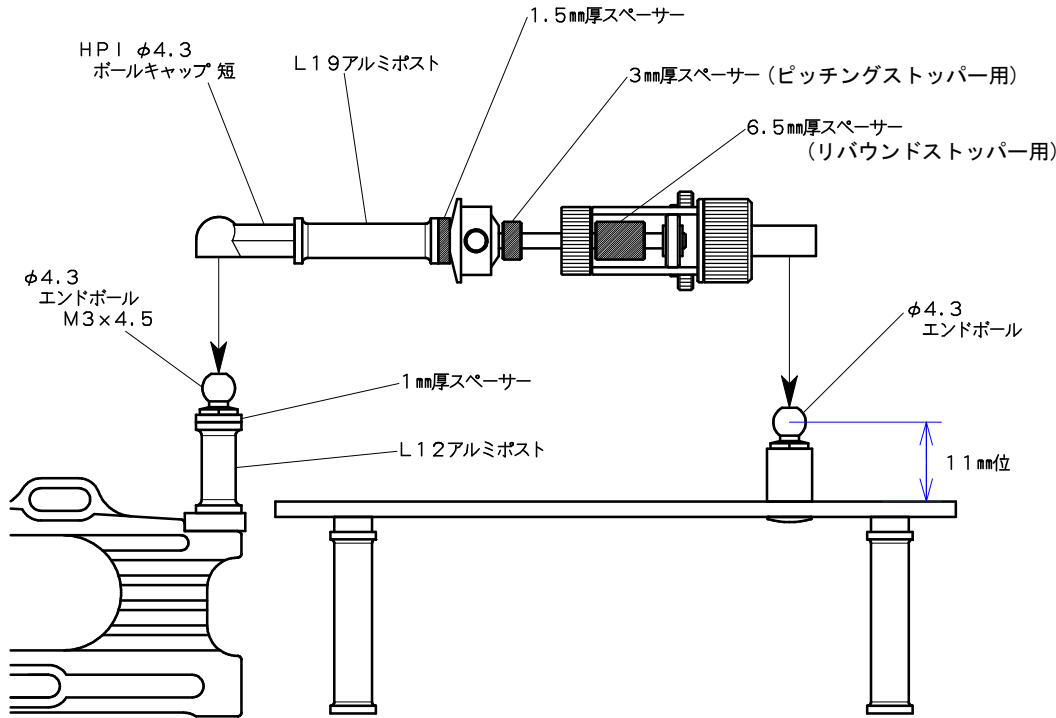




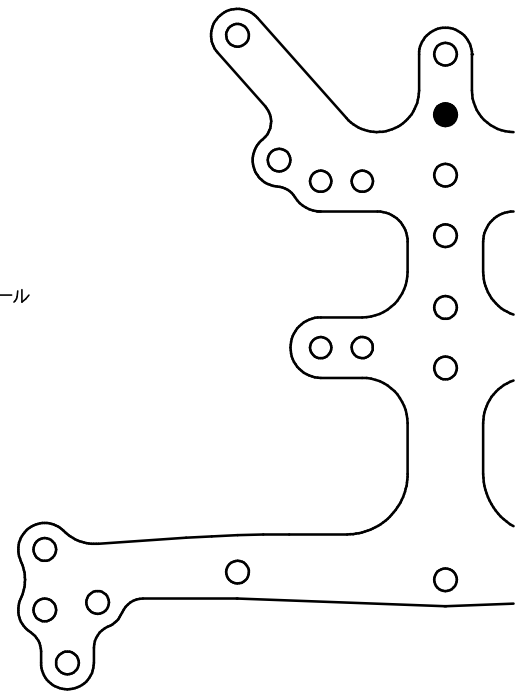
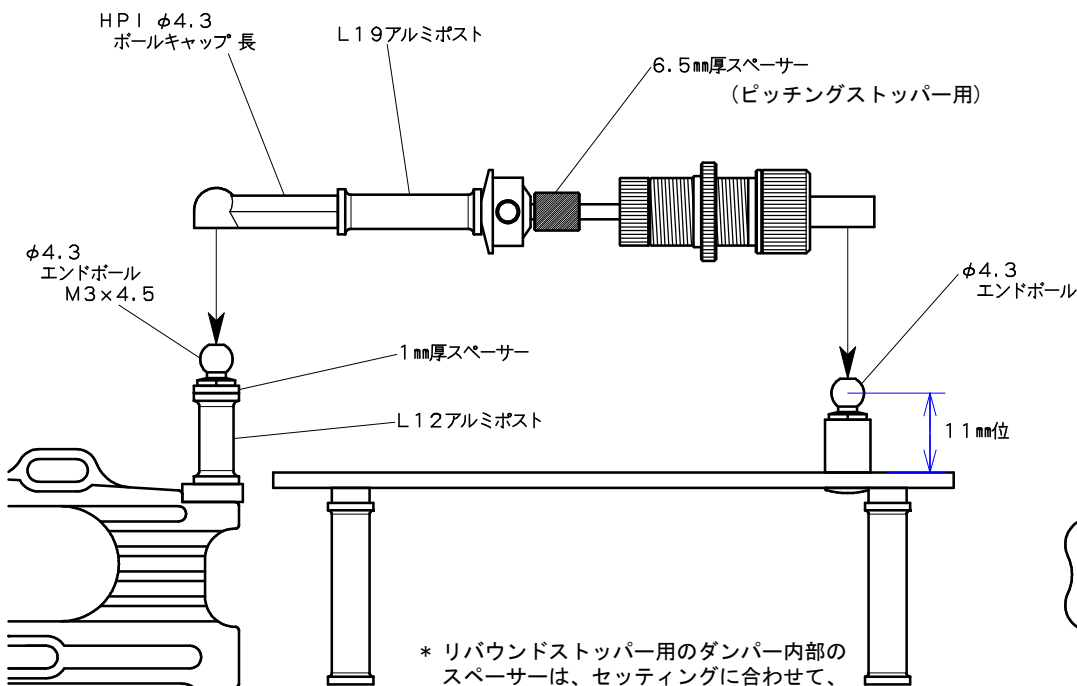
## HP I サイクロン12用ショックの取り付け

- \* 使用するスペーサーは、ダンパーケース、シャフト等を傷つけぬよう樹脂製を使用して下さい。
- \* スペーサーサイズは、あくまでも基準です。実際に取り付け、各部に干渉しないように、シム、スペーサー等で調整して下さい。

\* アッパープレート側の取り付け位置が、標準の位置の場合



\* アッパープレート側の取り付け位置が、標準の位置よりひとつ前の場合



\* リバウンドストッパー用のダンパー内部のスペーサーは、セッティングに合わせて、任意に設定して下さい。

## ロアアームを下げてもフロントの車高を上げる方法

\* フロントに小径タイヤを使用する等、フロントの車高を上げたい場合は、図のようにロアアームを下げ、車高を1mm上げることができます。

